

年度評価シート

課名 文化振興課

施設の名称 静岡市民文化会館及び静岡市民文化会館前駐車場	指定管理者名 静岡市文化振興財団共同事業体
<p>1 履行状況</p> <hr/> <p>(1) 目標達成</p> <p>ア 文化会館年間施設利用者数</p> <p>目標値 500,000人</p> <p>実績値 375,944人 (前年度 388,974人)</p> <p>達成率 75.2% (前年度比 96.6%)</p> <p>【参考】令和元年度(コロナ前) 実績値 442,609人、達成率 88.5%</p> <p>イ 文化会館年間施設利用率</p> <p>目標値 70%</p> <p>実績値 62.8% (前年度 62.1%)</p> <p>達成率 89.7% (前年度比 101.1%)</p> <p>【参考】令和元年度(コロナ前) 実績値 62.6%、達成率 89.4%</p> <p>ウ 駐車場年間平均利用率</p> <p>目標値 40%</p> <p>実績値 40.3% (前年度 38.2%)</p> <p>達成率 100.1% (前年度比 104.8%)</p> <p>【参考】令和元年度(コロナ前) 実績値 39.8%、達成率 99.5%</p> <p>(2) 施設利用状況</p> <p>ア 文化会館利用者数、稼働率</p> <p>(ア) 大ホール 195,238人、67.33% (前年度 230,226人、71.14%)</p> <p>(イ) 中ホール 75,685人、70.00% (前年度 79,122人、74.50%)</p> <p>(ウ) 大会議室 22,375人、72.33% (前年度 21,498人、72.15%)</p> <p>(エ) 1～6会議室 22,270人、60.61% (前年度 16,746人、58.56%)</p> <p>(オ) A～C展示室 53,230人、60.11% (前年度 37,093人、56.60%)</p> <p>(カ) リハーサル室 7,146人、60.67% (前年度 4,289人、68.46%)</p> <p>イ 駐車場利用台数、稼働率</p> <p>利用台数 163,629台 (前年度 149,244台)</p> <p>稼働率 40.3% (前年度 38.2%)</p> <p>(3) 人員配置状況</p> <p>ア 会館管理部門</p> <p>館長 1人 (正規職員)、舞台統括責任者 1人 (正規職員)、係長 1人 (正規職員)、</p>	

係員15人（正規職員13人、臨時職員1人、パートタイマー1人）

イ 駐車場管理運営部門

非常駐4人（正規職員）

ウ 施設維持管理部門

常駐1人（正規職員）、非常駐1人（正規職員）

（4）業務実施状況【文化会館】

静岡市民文化会館条例第3条に規定する各種事業及び駐車場事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。

主な事業と入場者数等実績は、以下のとおり。

事業内容	令和5年度		令和4年度	
	入場者数	目標値	入場者数	目標値
芸術文化鑑賞事業	3,852人	4,100人	22,565人	19,950人
支援育成事業	275人	250人		
交流活性化事業	37,234人	26,400人		
「まちは劇場」プロジェクト推進事業	2,067人	380人	188人	80人

①事業実施状況【文化会館のみ】

主催事業は、指定管理者が培ってきた事業企画に関する知見と人脈を最大限に活用し、各界で活躍する芸術家やアーティストを招聘し、市民に貴重な文化鑑賞の機会を提供した。

自主事業として、静岡市歴史博物館と共催で、ミュージカルと落語で構成されたオリジナル作品「ミュージカル落語『徳川家康』」を開催し、子供から大人まで幅広い世代を楽しませることができた。

また、市民による舞台公演制作とワークショップなどの取組を事業群にまとめた「ラウドヒル計画」においては、市民参加型舞台大型作品の10周年記念作品として、参加資格を拡大し、6～78歳までの100人余りが募るなど、幅広い年代に自ら文化芸術を行うきっかけを与えた。同計画においては、昨年度の焼津公演に引き続き三島公演を開催し、文化の発信拠点として県東部にもその取り組みを発信することができた。

さらに、新たな市民参加型事業として、アート事業と伝統芸能事業を実施し、小学生から70代までの幅広い市民にアート作品の制作および発信の場を設け、伝統芸能への関心を高める一助となったことは評価できる。

そして、将来に向けた当館エリアのにぎわい創出に向けた試行的事業として、昨年度に引き続きオーガニックカフェ&マルシェ「にぎわい市場」を実施し、令和5年11月には近隣の商店街のマルシェや古本市と同日開催とし、連携して情報交換及び発信を行うなどして、目標を上回る来場者が訪れた。

主な主催事業の来場者数は以下のとおり。

- ・ 松竹大歌舞伎（7/17 中ホール 参加者894人）
- ・ ラウドヒル計画「GET OVER！～イエヤス スマイル フォーユー～」（10/21、22（全2回） 中ホール 参加者1,054人）
- ・ オーガニックカフェ&マルシェ「にぎわい市場」

(5/3、11/25 人工台地 参加者2,412人)

②維持管理業務【文化会館・駐車場】

文化会館においては、「文化会館の管理運営業務」、「舞台等関係備品及び事務備品の保守管理業務」など6件の施設管理業務、「エレベーター保守点検業務」、「舞台設備機構保守点検業務」など29件の保守点検業務を事業計画に従って適切に実施した。修繕については、市と修繕計画を作成し対応するとともに突発的な不具合への対応も行い、「井水薬液注入装置設置修繕」、「搬入口シャッター修繕」及び「中ホール高所作業台ロープ交換修繕」など53件を指定管理者自ら又は発注により実施した。

駐車場においては、「駐車場の管理運営業務」、「保安警備業務」など4件の施設管理業務、「建築設備運転保守管理業務」、「電話設備保守点検業務」など13件の保守点検業務について事業計画に従って適切に実施した。修繕については、「変電設備内コンデンサ更新修繕」、「場内ネットワークカメラ交換修繕」など14件を実施した。

開館から40年以上経ち施設設備ともに老朽化が顕著である両施設において、日常点検整備を的確に行い、不具合箇所については速やかに修繕対応や市への情報共有が行われており、運営に支障をきたすことがないよう計画的な維持管理が行われている。

【検証・分析等】

令和5年度は、公益財団法人静岡市文化振興財団、株式会社アス、株式会社NTTファシリティーズ、タイムズ24株式会社、タイムズサービス株式会社、太平ビルサービス株式会社の6者による共同事業体での指定管理期間（第4期）の3年目であった。

令和5年度は前年度に比べて、利用者数はやや減少、利用率は横ばいとなった。新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限が解除されたものの、コロナ禍前の水準には回復しておらず、管理者業務仕様書に定めた目標は、達成することができなかった。その原因としては、コロナ禍を経て、主に高齢者を中心とした団体が縮小化または解散したことで中ホールや展示室の利用者が減少したこと、また令和7年度から老朽化に伴い文化会館を再整備するための休館を見据えて、利用者が別の施設へシフトしている可能性が考えられる。

しかしながら、各界で活躍する芸術家や著名なアーティストを招聘した多彩なジャンルの公演や、駿府城公演周辺エリアの賑わい創出イベントを開催したことは、幅広い世代に芸術文化鑑賞機会を提供し、また賑わいの創出に努めるとともに、施設の利用者数及び利用率の回復のために取り組んだものとして評価できる。また、「ラウドビル計画」市民参加型舞台大型作品の10周年記念作品では、参加資格を拡大し、6～78歳までの100人余りが募るなど、幅広い年代に自ら文化芸術を行うきっかけを与える取り組みを続けていることは大いに評価できる。

駐車場については、令和5年度は前年度に比べて、利用台数は大幅に増加、稼働率も増加し、指定管理者業務仕様書に定めた目標（稼働率40%）を達成した。新型コロナウイルス感染症拡大前を上回る利用台数、稼働率となっており、今後もさらなる増加を期待する。

また、キャッシュレス決済の比率が全体の14.5%となり、着実に利用者のニーズに合わせた利便性の向上が図れている。

引き続き、利便性の良い駐車場を目指し、さらなる稼働率、収入の向上に努めていきたい。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】【文化会館】

意見等：ホワイトボードの脇が動かずボードが回らなかった。

対 応：該当するホワイトボードは両脇にあるノブを引っ張って回すタイプで職員が動作確認をしたところ問題なく回転できた。原因としては、使用方法が周徹底できていないことであると考えられたため、ホワイトボードについてのわかりやすい取扱説明書を作成し掲出した。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対して、設備の関係上不可能なことを除き、丁寧で適切な対応がとられており、良好であると評価できる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査【文化会館のみ】

自主事業の内容に対する満足度調査

【調査結果】

回答者総数：1,885件、「とても良かった」「良かった」と回答した人数：1,781人
満足度 94.5%

【検証・分析等】

各界で活躍する芸術家や著名なアーティストを招聘した多彩なジャンルの公演や、市民向けのイベントを開催し、幅広い世代のニーズに合った魅力的な芸術文化の提供や創出が実現できた結果と考えられる。

主な自主事業の満足度は以下のとおり。

- ・ミュージカル落語 97.1%
- ・ラウドヒル計画「GET OVER！」 96.1%

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート【文化会館のみ】

(回答者総数2,468人、当該施設を知っていると回答した人：1,776人)

【検証・分析等】

文化会館の認知度は78.8%で、他の文化施設等と比較した結果、高い水準であった。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(3) その他の調査【文化会館のみ】

施設内に投書形式の「利用者の声」を設置し、施設利用者に随時、意見・要望や施設満足度について調査した。

【調査結果】（回答者総数670人）

各項目の「満足」「やや満足」の回答率は下記のとおり。

- ① 職員の応対 88.0%（前年度88.3%）
- ② 清掃、整理整頓 87.4%（前年度86.8%）
- ③ 案内表示、掲示版 84.4%（前年度79.8%）
- ④ 開館日、開館時間 85.1%（前年度80.7%）
- ⑤ 空調、音響、照明等 83.6%（前年度79.8%）

【検証・分析等】

職員の応対や清掃、整理整頓などソフト面の満足度を向上させる取組を行っている。なお、今年度は、前年度に比べ、ほぼすべての項目において評価が上がっている。特に案内表示、掲示板、開館日、開館時間の項目で評価が伸びている。要因としては、利用者（主催者）に対して来場者向けに見やすい案内表示を出すよう働きかけたり、掲示板を目立つ位置に出すよう指示し、状況によって施設側でも案内を追加したりしたこと、施設の利用時間について、予約時や申請時に丁寧に説明を行ったことが考えられる。

また、令和5年度は市民文化会館運営協議会を令和5年5月に開催し、外部からの意見・要望を積極的に取り入れる態勢が整えられている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、概ね予算のとおり執行されており良好である。外的要因に大きく左右される文化会館の運営において、引き続き施設の更なる利用率向上による利用料金収入等の増加と、支出の経費削減等を行うことで、安定的な収支状況の確保を期待したい。また、今後は、老朽化が進む施設において、安全面に最大限配慮しつつ、利用者の利便性向上にむけた取組を強化することで収入の確保を期待したい。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

・文化会館

令和5年度は、施設利用者数375,944人（目標値500,000人：達成率75.2%）、施設利用率62.87%（目標値70%：達成率89.8%）となり、コロナ禍と比べて回復しているものの、コロナ禍を経て利用者団体が縮小化または解散したこと、再整備を見据えた利用控え等により施設利用者数が伸び悩み、目標を達成することはできなかった。

一方で、指定管理者が培ってきたノウハウを最大限に活用し、各界で活躍する芸術

家やアーティストを招聘するなどして、市民に貴重な文化鑑賞の機会を提供し、利用者満足度調査において高い満足度を得ていることは評価できる。

また、市民による舞台公演制作とワークショップなどの取組を事業群にまとめた「ラウドヒル計画」においては、参加年齢の拡大や、初の県東部での公演の実施、さらに新たな市民参加型事業としてアート事業と伝統芸能事業を展開するなど、指定管理者の企画立案により、文化の発信拠点としての役割を果たしていること、自ら文化芸術に取り組む機会の拡大に取り組んでいることは大いに評価できる。

そして、オーガニックカフェ&マルシェ「にぎわい市場」を実施し、駿府城エリアの団体等と連携して情報交換及び発信を行うなどして、目標を上回る来場者があったことは、大きな成果であり、周辺エリアの賑わいの創出に貢献することができている。

以上のことから、駿府城公園周辺エリアの賑わい創出に貢献する市民の創造性を育む地域の文化拠点として、市民の文化活動を支援し多様な芸術文化に触れる機会の拡充を図ることができているといえる。

引き続き、市民に質の高い舞台等の鑑賞機会の提供と、静岡の文化活動を担う人材の発掘・育成・支援という役割を果たし、コロナ禍前の水準に達するよう努めていただきたい。また、事業内容に応じた効果的な広報の検討・実施をするなど、より多くの集客に繋がるような周知の方法にも注力し更なる発展を期待する。

・駐車場

令和5年度は、利用台数163,629台、稼働率は40.3%（目標値40%：達成率100.8%）となり、こちらはコロナ禍前を上回る伸びとなり、目標も達成することができた。

引き続き、文化会館との一体管理の優位性を活かし、利用者にとって利便性の良い駐車場となるよう指定管理者のノウハウを発揮するとともに、施設利用者以外の利用者を拡大するための取組みを検討、実施して、利用率をより高めていくことを期待する。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。